



2020年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月10日

上場会社名 株式会社ドーン

上場取引所 東

コード番号 2303 URL <https://www.dawn-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎正伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼管理部長 (氏名) 近藤浩代

TEL 078-222-9700

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の業績(2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	194	36.3	50		51		38	
2019年5月期第1四半期	142	12.0	6		5		3	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	11.95	
2019年5月期第1四半期	1.23	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第1四半期	1,656	1,489	90.0
2019年5月期	1,645	1,475	89.7

(参考)自己資本 2020年5月期第1四半期 1,489百万円 2019年5月期 1,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		7.50	7.50
2020年5月期					
2020年5月期(予想)		0.00		8.50	8.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	980	9.7	220	10.0	226	10.2	160	2.6	50.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3)四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期1Q	3,300,000 株	2019年5月期	3,300,000 株
期末自己株式数	2020年5月期1Q	115,983 株	2019年5月期	115,983 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期1Q	3,184,017 株	2019年5月期1Q	3,180,288 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記の予想の前提条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年6月1日から2019年8月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題や海外経済の不確実性等による影響、消費税増税による国内消費の落ち込み懸念等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は、防災・防犯・救急といった安心・安全に係わる分野を中心にGIS関連の受託開発やクラウドサービスの受注獲得に向けて積極的な営業展開を行いました。また、兵庫県警察本部と連携し、110番通報の際に通報者がスマートフォンによるビデオ通話を行い、通報現場の状況を伝達するシステムの実証実験を開始する等、新たなクラウドサービスの実用化についても注力いたしました。

以上の結果、売上高については、ライセンス販売において大型案件の受注があったことやクラウドサービスの契約数が積み上がり利用料収入が増加したため、194,554千円(前年同四半期比36.3%増)となりました。

利益面では、売上高の増加と売上高総利益率が前年同四半期比20.4ポイント上昇したため、営業利益50,907千円(前年同四半期は営業損失6,805千円)、経常利益51,807千円(前年同四半期は経常損失5,454千円)、四半期純利益38,060千円(前年同四半期は四半期純損失3,920千円)となりました。

なお、当社事業は顧客の決算期が集中する3月に売上計上される受注が多いため、第4四半期会計期間に売上高が偏重する傾向があることから、各四半期の業績に季節変動があります。

また、当社は地理及び位置情報事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,656,211千円となり、前事業年度末と比較して10,981千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が241,030千円減少した一方で、金銭信託が200,000千円、投資有価証券が20,532千円、仕掛品が27,991千円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、166,411千円となり、前事業年度末と比較して3,361千円の減少となりました。これは主に、流動負債のその他が29,958千円増加した一方で、未払法人税等が21,383千円、買掛金が9,775千円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、1,489,800千円となり、前事業年度末と比較して14,343千円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の業績予想に関する事項につきましては、2019年7月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,724	857,694
売掛金	109,931	113,637
有価証券	58,068	58,015
金銭の信託	-	200,000
仕掛品	2,117	30,108
貯蔵品	3,356	5,429
その他	22,943	20,482
貸倒引当金	△109	△113
流動資産合計	1,295,032	1,285,254
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,277	4,184
工具、器具及び備品(純額)	5,072	5,632
有形固定資産合計	9,349	9,816
無形固定資産		
ソフトウェア	3,076	2,699
無形固定資産合計	3,076	2,699
投資その他の資産		
投資有価証券	292,529	313,062
その他	45,241	45,377
投資その他の資産合計	337,770	358,439
固定資産合計	350,196	370,956
資産合計	1,645,229	1,656,211

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,887	9,111
未払法人税等	40,686	19,302
未払消費税等	15,315	10,245
賞与引当金	-	12,194
その他	52,827	82,786
流動負債合計	127,716	133,640
固定負債		
長期未払金	27,430	19,965
その他	14,626	12,805
固定負債合計	42,056	32,770
負債合計	169,772	166,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,950	363,950
資本剰余金	358,313	358,313
利益剰余金	762,849	777,029
自己株式	△11,276	△11,276
株主資本合計	1,473,835	1,488,016
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,621	1,783
評価・換算差額等合計	1,621	1,783
純資産合計	1,475,456	1,489,800
負債純資産合計	1,645,229	1,656,211

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)
売上高	142,718	194,554
売上原価	70,461	56,352
売上総利益	72,257	138,201
販売費及び一般管理費	79,062	87,294
営業利益又は営業損失(△)	△6,805	50,907
営業外収益		
受取利息	30	26
受取配当金	8	8
有価証券利息	706	798
助成金収入	600	-
その他	5	65
営業外収益合計	1,351	899
経常利益又は経常損失(△)	△5,454	51,807
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,399
特別利益合計	-	3,399
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△5,454	55,207
法人税等	△1,534	17,146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,920	38,060

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。